講義概要

プロモーション映像科

状況により、オンラインで実施される場合もあります。

実務経験のある教員などによる授業科目の一覧表　　プロモーション映像科

●1年次

	授業科目名	修得単位時間	必修・選択	実務経験のある教員等授業	省令基準時数分シラバス提出授業
実習・演習科目	プロモーション映像制作	180	必	○	
	ヴィジュアルイメージ	80	必		
	ノンリニア編集（Premiere Pro）	60	必	○	
	ゼミナールⅠ（大和ゼミⅠ）	60	選		
	ロケーションハンティング	30	選		
	グラフィックソフトトレーニング	60	選	○	
	DaVinci Resolve	60	選	○	
	ライティングデザイン	45	選		
	空間インスタレーションⅠ	30	選	○	
	空間インスタレーションⅠ・イベント制作(短期集中)	30	選		
	デシタル撮影基礎	60	選	○	
	デシタル撮影システムⅠ	60	選	○	◆
	スタッフゼミⅠ	30	選		
	小計	785		510	
基礎専門科目	映像演出	30	必		
	映像デザイン	30	選	○	
	イメージプランニング	30	選	○	
	映像創作基礎	60	必	○	
	映像創作分析	60	必	○	
	小計	210		180	
特別科目	特別講座Ⅰ	30	必		
	就職講座Ⅰ	30	選		
	小計	60		0	

●2年次

	授業科目名	修得単位時間	必修・選択	実務経験のある教員等授業	省令基準時数分シラバス提出授業
実習・演習科目	選択科目（以下より 何れかを選択）				
	卒業制作　MV	120	選	○	
	卒業制作MV　企画・制作・演出	60	選	○	
	卒業制作　個人映像　企画演出	45	選	○	
	卒業制作　個人映像　撮影編集	135	選	○	
	ミュージックビデオ制作	120	選	○	
	ミュージックビデオ制作　企画・制作・演出	60	選	○	
	選択科目（以下より 何れかを選択）				
	イメージディレクション	60	選	○	
	映像創作	60	選	○	◆
	デジタルエフェクト	60	選	○	◆
	デジタル撮影システムⅡ	80	選	○	
	空間インスタレーションⅡ	30	選	○	
	空間インスタレーションⅡ・イベント制作(短期集中)	30	選		
	ゼミナールⅡ（大和ゼミⅡ）	60	選		
	スタッフゼミⅡ	30	選		
	小計	710		590	
基礎専門科目	映像表現	30	選	○	
	アートディレクション	30	選	○	
	小計	60		60	
特別科目	特別講座Ⅱ	30	必		
	就職講座Ⅱ	30	選		
	就職講座Ⅲ	15	選		
	小計	75		0	

1年次時間数　合計	1055	690
		（最大）

2年次時間数　合計	845	650
		（最大）

総時間数　合計	1900	1340

※上記の科目には、短期集中講座を含む。

総時間数	1900	時間
実務経験のある教員等による授業数	1340	時間
省令で定める基準授業時数　シラバス提出分	180	時間

科目名	映像演出								
担当者	大和　秀平	講師紹介							
開講年次	1年次	必／選	必修	授業形態	座学	時間数	30時間	時期	前
到達目標	★映像を制作・演出する上で必要な基本の型やルールが理解できる ★撮影・照明技術の基礎知識を概念として身に着ける ★映像（光や色）について理解が深まる ★映像作品の企画から完パケまでの流れが理解でき、必要な書類作成も出来るようになる								
授業概要	皆さんは、生まれてから現在に至るまで、様々なメディアを通じて映像に接して来た事でしょう。日常的にスマートフォンやタブレット、パソコン、映画、TV等々で眼にする映像には、制作者側の意図や演出が必ずあるものです。しかし昨今、スマホやSNSの普及と共に誰もが簡単に映像コンテンツを発信することが出来る時代となり、作品性よりも視聴回数やフォロアー数が映像の良し悪しの判断基準と勘違いする風潮にあります。動画を倍速で観る事も、情報収集の速やかさで言えば、否定出来ませんが、映画・映像作品には作家自身が持っている「間」がとても重要になります。 この「映像演出」の授業では、数字による判断基準の動画・修正ばかりの写真では無く、自分の意思でプロフェッショナルを目指す為の、基礎を築く積極的な映像表現の制作・演出について学習して行きます。誰もが真似して作れる安易な映像では無く、自分だけが創る表現豊かで独創性のある映像作品が出来る事を期待します。								
授業計画	1. ガイダンス／カメラサイズ 2. カメラワークⅠ 3. カメラワークⅡ（特殊撮影機材等） 4. 映像の繋ぎ方Ⅰ（イマジナリーライン） 5. 映像の繋ぎ方Ⅱ（マッチカット・カットアウェイ等） 6. 映像の繋ぎ方Ⅲ（モンタージュ①） 7. 映像の繋ぎ方Ⅳ（モンタージュ②） 8. 中間試験 9. 光の色（色温度等） 10. 美術について 11. 撮影許可等申請書の作り方と撮影のルール 12. 企画書・画コンテ・香盤表等の作り方の実際 13. 音声について（録音機材と楽器のミュート方法） 14. まとめ 15. 前期試験								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／試験								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	映像デザイン								
担当者	金　大偉	講師紹介	音楽家、映像作家、演出家、画家として多方面に活動。音楽CD「TOMPA」、映画「ロスト　マンチュリア　サマン」など						
開講年次	1年次	必／選	選択	授業形態	座学	時間数	30時間	時期	前
到達目標	★映像と色彩の重要な関係性が理解できます ★映像と色彩と音楽の関連性を理解できます ★色彩感覚の実用性がよくわかります ★アートの世界による映像感覚を考えていきます								
授業概要	この授業では構図や色彩などのデザイン作業に必要な知識を習得するということを前提とし、様々な講義を進めて行きます。基本的には講義が中心となりますが、時には、色彩や構図などに関するデザイン作業も行ってゆき、色彩感覚やデザイン感覚を養ってゆきます。一口に色彩・デザインといっても民族や文化の違いによってその感覚も異なります。アジアでもヨーロッパでも、その国の時代によって、色彩感覚には大きな変化がみられるものです。講義内容は、映像的な色彩・デザイン感覚や創造性を養うようになると思います。								
授業計画	1. 簡単な色彩と映像のかかわり 2. 映像と色彩と構図の基本 3. 広告の色彩や構図 4. 映像と光とデザインの関係 5. 西洋の色彩感覚（絵画の世界） 6. アジアの色彩感覚 7. 音楽クリップの色彩と構成イメージ 8. アート映像と個性 9. 映像構成と創作について 10. 色彩の心理と意味 11. 色彩心理学 12. 映像と音楽の関係性 13. 映像表現における様々な要素 14. 映像と美学 15. 映像デザイン論のまとめ								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／レポート								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	イメージプランニング								
担当者	イタバシヒロノリ	講師紹介	ファッション映像ディレクター						
開講年次	1年次	必／選	選択	授業形態	座学	時間数	30時間	時期	前
到達目標	★自分が何を考えているのかを自覚しよう１ ★他人がどう思ってるのかを想像しよう１ ★大声で叫ぼう１								
授業概要	映像制作は、ほとんどがチーム制作です。アイデアが浮かんでも、そのアイデアをチームで共有出来なければ作品は前に進みません。アイデアを共有するには何が必要か？自分の考えを相手に伝える「言葉」が必要なのです。この授業は、その時々の話題の出来事やキーワードなど、様々なテーマについて資料を読んだり映像を見たりしながら「自分はどう思ったか」その自分の考えを「言葉にする」練習の場です。そしてさらに、その自分の考えを「企画」に発展させるプロセスを学んでいきます。								
授業計画	・過去のテーマ例 東京をテーマにした曲ってどのくらいある？ ファッションと演出の関係 映画やCMでよく使われるクラシックを最後まで聴いてみた 今年は日本の鉄道の歴史150周年らしい 美術館に行ってきてetc…								
評価方法									
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	映像創作基礎								
担当者	五十嵐　耕平 NOBO	講師紹介	映画・MVなどの映像ディレクター						
開講年次	1年次	必／選	必修	授業形態	座学	時間数	60時間	時期	前
到達目標	★映像を見る力を身につける ★映像とは何かを考える ★幅広い知識を身につける								
授業概要	この授業では映画・映像を鑑賞し、講義・ディスカッションします。そこでは何が写っているのか、どうやって表現されているのか、何が語られているのかを考察します。一つの映像をどのように見ればいいのか、自分の頭で考えることは、あなたがどのように生きているのかということの返答でもあります。その思考する力は自分たちの制作に必ず必要になるものです。								
授業計画	1. ガイダンス 2. 『デジャブ』鑑賞/講義 3. 『乱れる』鑑賞/講義 4. 『魔法にかけられて』鑑賞/講義 5. 『台風クラブ』鑑賞/講義 6. 『恋々風塵』鑑賞/講義 7. 『ライフ・アクアティック』鑑賞/講義 8. 『ラルジャン』鑑賞/講義 9. 『友だちのうちはどこ？』鑑賞/講義 10.『恐怖分子』鑑賞/講義 11.『羊たちの沈黙』鑑賞/講義 12.『セブンスチャンス』鑑賞/講義 13.『2001年宇宙の旅』鑑賞/講義 14.『東京物語』鑑賞/講義 15.『モダン・タイムス』鑑賞/講義								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／レポート								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	映像創作分析								
担当者	五十嵐　耕平 NOBO	講師紹介	映画・MVなどの映像ディレクター						
開講年次	1年次	必／選	必修	授業形態	座学	時間数	60時間	時期	後
到達目標	★映像を言語化する力を身につける ★自分にとっての映像とは何かを考える ★技術を見て身につける								
授業概要	前期で行った授業をさらに掘り下げながら映像を鑑賞しディスカッションします。自分の感じたこと、発見したことをどうにか少しずつ言葉にして相手に伝える。その過程が映像を作る力になります。何も考えずに素晴らしい映像はできませんし、何も見ずに素晴らしい映像を作ることはできません。見て考えて自分自身の力にしてください。								
授業計画	1. ガイダンス 2.『ソナチネ』鑑賞/講義 3.『ハズバンズ』鑑賞/講義 4.『許されざる者』鑑賞/講義 5.『サイコ』鑑賞/講義 6.『ヤンヤン夏の思い出』鑑賞/講義 7.『大人は判ってくれない』鑑賞/講義 8.『勝手にしやがれ』鑑賞/講義 9.『裏窓』鑑賞/講義				10.『恐怖分子』鑑賞/講義 11.『素晴らしきかな人生』鑑賞/講義 12.『カリフォルニア・ドールズ』鑑賞/講義 13.『ストーカー』鑑賞/講義 14.『ブンミおじさんの森』鑑賞/講義 15.『フレンチ・カンカン』鑑賞/講義					
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／レポート								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	特別講座Ⅰ・Ⅱ								
担当者	大和・伊藤	講師紹介							
開講年次	1年次／2年次	必／選	必修	授業形態	座学	時間数	30時間	時期	前
到達目標	★ミュージックビデオ・CM他、映像業界の現在がわかる ★業界人及び卒業生の話を直接聞くことができる ★作者の作品を鑑賞し質問もできる ★仕事に対する視野が広がる								
授業概要	この授業では、毎回映像業界のあらゆるジャンルのプロフェッショナルをゲストに迎えて、最前線で仕事をしているプロならではの視点から、そのノウハウやトピックスを織り交ぜながら、映像業界の実際に関する講義をして頂いています。 自分の目指している若しくは、興味のあるジャンルの講義だけでなく、今まで知らなかった世界を垣間見ることで、皆さんの価値観が変わるかも知れません。先入観を持たずに、自分の進む業界を様々な視点で眺めてみましょう。								
授業計画	※前期（30時間）ではありますが、月に1～2回の講義です。 ※毎回、レポートを提出しますが、それも出席に加算されます。								
評価方法	レポート								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	就職講座Ⅰ								
担当者	学務管理部	講師紹介							
開講年次	1年次	必／選	選択	授業形態	座学	時間数	30時間	時期	通
到達目標	★就職活動における各種準備 ★ビジネスマナー習得 ★社会人としての知識を得る								
授業概要	この授業は、皆さんが希望する企業や職業に就職するためのものですが、更に社会を知り、社会人としてのマナーを身につけるという目的もあります。授業の進め方は、実習形式と座学形式で展開していきます。例えば、筆記試験対策として模擬試験を実施する座学があったり、面接対策としてプレゼンテーションの練習等をする実践的な授業もあります。また随時、求人情報の紹介をしますので、この授業を受講していると就職やアルバイトに関しての情報が素早くキャッチでき、自らの進路決定に役立ちます。								
授業計画	1. 就職するということ（ガイダンス） 2. 働く意義・活動スケジュール 3. 目指す業界について 4. 職種の範囲について 5. ビジネスマナー（敬語、電話） 6. 〃 （メール、手紙） 7. 履歴書の書き方① 8. 〃 ② 9. 面接対策 10. 求人票の見方 11. 雇用形態・雇用条件に関して 12. スーツの着こなし方とビジネスマナー 13. インターネットを使った就職活動 14. 社会保険講座 15. グループディスカッション								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	プロモーション映像制作								
担当者	大和・伊藤　他	講師紹介							
開講年次	1年次	必／選	必修	授業形態	演習	時間数	180時間	時期	後
到達目標	★ミュージックビデオの制作プロセスが実践できる ★撮影・照明・編集等の機材をしっかり体得できる ★対外的な交渉やプレゼンテーション能力が身につく ★実践的な企画書等の書類を正しく作成できる								
授業概要	この授業は、１年生前期に行われた実習授業の延長線上にあり、その応用編でもあるが、「仕事」としてのスタンスで映像制作を体験する第一歩であるといえよう。 好きなアーティスト・商品に対する主観的なイメージで創造するのではなく、仕事として依頼されたアーティストの楽曲をアーティスト側との共同作業でミュージックビデオを作っていきましょう。そのためにも、前期の授業をしっかり学び、映像制作に必要な知識とビジュアルセンスを養いましょう。完成後、成長している自分に会える筈です。								
授業計画	1. ガイダンス 2. スタジオ美術等の説明（スタジオ） 3. 企画書等資料作成について 4. 撮影進行基礎Ⅰ（スタジオ） 5. アーティスト発表／班分け／ディレクター立候補／スタッフ編成 6. 撮影進行基礎Ⅱ（スタジオ） 7. 企画書・イメージコンテ等作成 8. 撮影進行基礎Ⅲ（スタジオ） 9. 企画書・イメージコンテ等チェック／プレゼン練習Ⅰ 10. 撮影練習Ⅰ（スタジオ／外部講師・撮影技師） 11. 企画書・イメージコンテ等チェック／プレゼン練習Ⅱ（MV監督がチェック） 12. 撮影練習Ⅱ（屋上／外部講師・撮影技師） 13. アーティスト顔合わせ・プレゼンⅠ 14. 撮影練習Ⅲ（野外／外部講師・撮影技師） 15. プレゼンⅡ／ディレクター決定・企画内容決定／スタッフ表作成 16. 撮影自由練習期間Ⅰ（各班の撮影内容により機材を選択） 17. ロケハン／撮影スケジュール等作成 18. 撮影自由練習期間Ⅱ 19. ロケ地決定／撮影許可等申請 20. 撮影準備期間（画コンテ・撮影許可等申請・美術制作・ヘアーメイク等発注） 21. アーティスト打ち合わせ（衣装合わせ等） 22. 撮影準備期間（香盤表作成・美術製作・車両等発注） 23. 撮影①（ロケ） 24. 撮影②（スタジオ） 25. 撮影予備日 26. 編集①（オフライン） 27. 編集②（オフラインチェック） 28. 編集③（オフライン直し） 29. 編集④（オンライン／完パケ／納品） 30. 講評会								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	ヴィジュアルイメージ								
担当者	大和・伊藤	講師紹介							
開講年次	1年次	必／選	必修	授業形態	演習	時間数	80時間	時期	前
到達目標	★撮影機材の基礎的な扱いが身に付く ★撮影手順の基礎が理解できる ★様々なジャンルの作品を製作できる								
授業概要	この授業では、生まれた時から使い慣れた言葉という表現手段から離れ、映像を使い、他者に対して何かを表現するという、視覚的コミュニケーションの基礎を実習する。 ［映像演出］という座学で撮影と映像の構成の基礎を学ぶが、それはあくまで１つの型でしかない。無論、その型も大切なものではある。しかし、表現者という視点で、いわゆる映像の文法を壊し、自分の表現スタイルの核となるものを掘り起こす第一歩として、この授業を役立てて欲しい。								
授業計画	1. ガイダンス／機材・課題①説明 2. 課題①撮影 3. 課題①講評会／課題②説明 4. 課題②撮影 5. 課題②講評会／課題③説明 6. 課題③撮影 7. 課題③講評会／課題④説明 8. 課題④撮影 9. 課題④講評会／課題⑤説明 10. 課題⑤撮影 11. 課題⑤講評会／最終課題説明 12. 最終課題撮影 13. 最終課題撮影 14. 最終課題撮影 15. 最終課題講評会								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	ノンリニア編集（Premiere Pro）								
担当者	イタバシ　ヒロノリ	講師紹介	ファッション映像ディレクター						
開講年次	1年次	必／選	必修	授業形態	実習	時間数	60時間	時期	前
到達目標	★映像編集を実際に体験します ★Adobe Premiereの使い方がわかります ★音楽と映像の関係性を理解できます								
授業概要	映像作家・クリエイターの業界標準となったPremiereというソフトの基本概念の理解を深め、その機能と操作方法を体感的に学びます。 音楽とシンクロした自分オリジナルの映像創りのはじめの一歩です。								
授業計画	1. Adobe Premiereの基礎① 2. 音楽に合わせてカット編集① 3. 〃 ② 4. 音楽を編集してみよう① 5. 〃 ② 6. Adobe Premiereの基礎②（素材のキャプチャー） 7. インタビューの編集① 8. 〃 ② 9. 〃 ③ 10. Adobe Premiereの基礎③（エフェクトについて） 11. 個人的問題解決① 12. 〃 ② 13. 〃 ③ 14. まとめ 15. 試験								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考	必修から選択科目に履修変更。他の授業への提出データ設定統一の告知のため初回ガイダンスは全員必修希望。								

科目名	グラフィックソフトトレーニング								
担当者	日笠　かな	講師紹介	ポストプロダクションを経て現在はフリーで活動するエディター						
開講年次	1年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	60時間	時期	後
到達目標	★フォトショップとイラストレーターの基本操作を取得 ★それぞれのソフトの特長と出来る事を理解し動画制作につながる技術をマスターする								
授業概要	Adobeのソフトであるフォトショップとイラストレーターの使い方を学び、フォトショップでは画像の加工や合成、イラストレーターではロゴや文字の加工やフライヤー作成など、様々な用途で使える技術を教えていきます。 また、映像制作においての基本知識や映像ソフトへ送るデータの作成方法など、映像に関する細かな知識も学ぶ事ができます。								
授業計画	1. ガイダンス 2. Illustratorの基礎 ①各ツールと機能 3. 〃 ②文字や図形の加工 4. Illustratorの応用 ①ロゴ作成 5. 〃 ②トレース 6. 〃 ③タイトル作成 7. Photoshop ①各ツールと機能 8. 〃 ②写真加工・肌修正 9. 〃 ③図形・タイトル作成 10. 〃 ④画像加工、合成 11. Illustrator　クリッピングマスク 12. 〃 地図作成 13. 課題実習 ①フライヤー作成 14. 〃 ② 〃 15. 講評、まとめ								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	Da Vinci Resolve								
担当者	田澤　友和	講師紹介	vanishock inc.代表。海外アーティストのオフィシャル撮影。様々な日本のアーティストの映像周りを手がける						
開講年次	1年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	60時間	時期	後
到達目標	★「Da Vinci Resolve」「Da Vinci Resolve」の基本操作を覚えよう ★ カラーグレーディングについて覚えよう ★ MV編集におけるワークフローを覚えよう								
授業概要	Blackmagic Design社の「Da Vinci Resolve」は全世界のプロのクリエイター／ポストプロダクションで使用されているビデオ編集に関してオールインワンのアプリケーションです。初めて「Da Vinci Resolve」を使用するところからチュートリアルに沿って学んでいきます。さらに一般的なチュートリアルだけではなく、プロモーション映像科の課題で使用する頻度が多い作業や実際にMVの素材からマルチクリップ編集～カラーグレーディングなどを覚えることができます。								
授業計画	1. 基本　ワークフロー　環境設定　メディアの読み込み 2. カットページ～エディットページでのカット編集 3. カラー①インターフェイス　ノードについて 4. カラー②カラーグレーディング1 5. カラー③カラーグレーディング2 6. カラー④カラーグレーディング3 7. Fusionページについて 8. Fairlightページについて 9. MV編集①マルチクリップ編集 10. MV編集② 11. カラー⑤カラーグレーディング4 12. カラー⑥カラーグレーディング5 13. MV編集③ 14. MV編集④ 15. MV編集⑤								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	ライティングデザイン								
担当者	副島　照礼	講師紹介	東放学園専門学校　照明クリエイティブ科主任 テレビ番組・CM・PV等にフリーとして関わる						
開講年次	1年次	必／選	選択	授業形態	実習	時間数	45時間	時期	後
到達目標	★ 光をコントロールする為の基礎知識が得られる ★ 各種照明機材の取り扱い方法がわかる ★ 実際のライティング方法の基礎が学べる								
授業概要	クオリティの高い“こだわり”の画を撮る為には、照明は必要不可欠です。 そこでこの授業では、撮影時に最低限必要であろう照明の知識を学んでいきます。電気の基礎から撮影に使われる照明機材の使い方や電球の種類、自然光や場の明かりと照明との関わりや各種フィルタ等、様々な角度から照明のテクニックを経験してもらいます。 ディレクターとして映像に関わる人も、「明かり」を理解していると、自分の表現したい映像の世界が広がること間違いありません。								
授業計画	1. ガイダンス 2. 電気の基礎 3. 許容電流 4. 色温度 5. 照明機材（タングステンライト） 6. 照明機材（デイライト） 7. 照明機材（蛍光灯ライト） 8. 照明機材（その他） 9. 各種フィルター 10. ロケーション撮影 11. ライティングテクニック① 12. ライティングテクニック② 13. ライティングテクニック③ 14. ライティングテクニック④ 15. まとめ								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／試験／レポート								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	ロケーションハンティング								
担当者	伊藤　亜季	講師紹介							
開講年次	1年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	30時間	時期	前
到達目標	★都内及び近郊の地理に詳しくなる ★地図の見方や描き方が身に付く ★撮影場所に適した機材選定が出来るようになる								
授業概要	台本（企画）の内容（場面）に合ったロケ（撮影）地を探してくる…。それがロケーションハンティング（ロケハン）である。 ただ闇雲に探しても意味は無い。まずは必ず自分の足で出向いて撮影に適しているかをチェックし、その場面の設定時間を考慮する。例えば「光」。…野外であれば、朝・昼・夕方・夜では違うだろう。「音」はどうか？…もし道路沿いだったら騒音が考えられる。他にもある。…撮影許可は降りるのか？…ロケバス等は駐車できるのか？様々な角度からの検証が大切だ。								
授業計画	1. ガイダンス／課題①説明 2. 課題①ロケハン 3. 課題①結果報告／課題②説明 4. 課題②ロケハン 5. 課題②結果報告／課題③説明 6. 課題③ロケハン 7. 課題③結果報告／課題④説明 8. 課題④ロケハン 9. 課題④結果報告／課題⑤説明 10. 課題⑤ロケハン 11. 課題⑤結果報告／課題⑥説明 12. 課題⑥ロケハン 13. 課題⑥結果報告／課題⑦説明 14. 課題⑦ロケハン 15. 課題⑦結果報告								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出／その他（取り組む姿勢、課題完成度）								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	デジタル撮影基礎								
担当者	折井　康弘	講師紹介	同プロモーション映像科第3期生。卒業後有名写真家のアシスタントを経てフォトグラファーとして活動中						
開講年次	1年次	必／選	選択	授業形態	実習	時間数	60時間	時期	前
到達目標	★デジタル一眼動画撮影における基礎知識を学ぶ ★機材の取り扱い、撮影技術の習得 ★モデルや商品を実際に使用した撮影実習の実施								
授業概要	FHDや4Kの動画を撮影出来るデジタル一眼レフカメラの登場によって、MVやCMの現場で一眼レフが多く使われ、フォトグラファーが動画の撮影を行うなどデジタル一眼動画（DSLRムービー）が映像業界でも主流となってきました。 「デジタル撮影基礎」の授業ではSONY a7Ⅲ（※ILCE-7M3）という一眼のミラーレスカメラを使用し、動画撮影にとって必要最低限な知識や技術、撮影方法などカメラを扱う上での基礎を学んでいきます。								
授業計画	1. ガイダンス 2. DSLRの機構（感度・絞り・シャッタースピード・色温度） 3. 動画の基礎、レンズの種類と特性 4. カメラ、三脚の扱い方 5. 露出計、カラーメーターの扱い方 6. 照明の基本 7. 企業見学① 8. 課題①「人物撮影」 9. 課題①上映 10. 課題②「商品撮影」 11. 課題②上映 12. 企業見学② 13. 撮影テスト 14. 課題③「スタジオ撮影」 15. 課題③上映、まとめ								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／その他（授業中における態度や姿勢）								
テキスト・参考書等									
備考	写真撮影、ビデオ撮影にも応用出来る内容です								

科目名	デジタル撮影システムⅠ								
担当者	工藤　久哉	講師紹介	ビデオエンジニア・DIT・カメラマン・ライブ中継・スポーツ中継・ライブ配信エンコード						
開講年次	1年次	必／選	選択	授業形態	実習	時間数	60時間	時期	後
到達目標	★HD撮影に必要な心構え、技術、テクニックの基礎 ★撮影、照明機材の正しい使い方を実習で学ぶ ★プロモーション映像制作、CM制作で必要な技術の習得								
授業概要	撮影現場の体験をもとに、技術スタッフに必要な考え方やマナー、仕事のしかたの基礎を身につけます。用語と技術的知識を習得するとともに、実習を通して撮影技術の基礎を身につけます。								
授業計画	1. 撮影現場の掟、撮影における基本的考え 2. 役割と名称、危機回避、ケーブル巻き 3. トラブルシューティング、機材の接続 4. アングル、サイズ、フォーカス、露出の三原則 5. 実際に使用する機材の使い方 6. FS5を使った撮影1 7. FS5を使った撮影2 8. FS5の特徴　スロー＆クイックモーション 9. FS5を使った撮影1 10. FS5を使った撮影2 11. 特機を使った撮影 12. 実践撮影1 13. 実践撮影2 14. プロモーション映像撮影の実践 15. CM撮影テクニック								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／レポート／課題提出								
テキスト・参考書等	自作テキスト配布								
備考									

科目名	空間インスタレーションⅠ・Ⅱ								
担当者	金・大和	講師紹介	音楽家、映像作家、演出家、画家として多方面に活動。音楽CD「TOMPA」、映画「ロスト　マンチュリア　サマン」など						
開講年次	1年次／2年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	30時間	時期	後
到達目標	★イベントプロデュース、演出の実践を体験できます ★イベント制作の全体過程を認識できます ★出演者の選定や様々な制作環境などを体験できます ★2年生と1年生における共同作業ができます								
授業概要	毎年行われる「学科イベント」に向け、実践を通じて学んでゆく。単に作品を展示や上映する以外に、その表現スペース自体を表現媒体としてプロデュース・演出することを目的とする。イベントの企画から運営を行うのはもちろん、使用する映像も製作してゆく。VJとしても参加することができる。卒業イベントではあるが、1年生も積極的に参加して欲しい。何故なら、2年生は就職を控えている為、1年生が主力と成りうるからである。規模としても、個人レベルでは出来ないイベントであることは間違いない。								
授業計画	1. ガイダンス 2. ライブ班、デザイン班、イベント班を確定 3. デザイン（イベントロゴなど）スタート 4. 出演者や制作スタッフの確定 5. イベントの方向性やイメージを確定 6. 出演者のブッキング 7. VJ用映像素材製作開始 8. イベント、ライブスケジュール決定 9. 制作会議 10. 〃 11. 〃 12. チラシ、宣伝ハガキ完成 13. 制作会議 14. 〃 15. イベント全体の最終まとめ								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出／その他（企画の実行力）								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	空間インスタレーションⅠ・Ⅱ／イベント制作								
担当者	大和　秀平	講師紹介							
開講年次	1年次／2年次	必／選	選択	授業形態	実習	時間数	30時間	時期	短
到達目標	★イベントを運営出来るようになる。 ★外部でのWEB配信を実践できる。 ★アーティストや外部スタッフとコミュニケーションが上手く行える。								
授業概要	空間インスタレーションⅠ・Ⅱで企画運営をして来たイベントのスタッフとして2日間参加する。空間インスタレーションを履修している学生は、アーティストのアテンドやケータリング、PAなどのLIVEハウスのスタッフとの連携や映像を実際に流す等の作業を行い、大和ゼミ履修者はLIVEを生配信スタッフとしてカメラマン・スイッチング・配信用音声などを実践する。								
授業計画									
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出／その他（企画の実行力）								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	大和ゼミⅠ・Ⅱ								
担当者	大和　秀平	講師紹介							
開講年次	1年次／2年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	60時間	時期	通
到達目標	★自主性が身に付く ★学科科目以外の映像制作ができる ★1・2年生合同の為、コミュニケーション能力が身に付く								
授業概要	ゼミとは、学生が自発的に研究・発表・討論などを行うものだが、この時間の討論は少ないものの、自主性が要求される。モチーフは提示して行くが、制作する作品の内容は自由度を高くする反面、自己責任及び自己管理能力が必要となる。実施内容は、その歳年で変化して行くが、目標とするところは「楽しみながら映像制作をしてみよう」といった事だろう。 映画制作の代、web配信で番組制作をした前年度、写真を展示した代、MVを制作した頃もあった。内容を決めるのは君達であり、時代、そして未来だ。								
授業計画	1. 2年生ガイダンス 2. 1年生ガイダンス 3. 前期制作テーマ説明 4. 企画書打合せ① 5. 企画書チェック① 6. 企画書打合せ② 7. 企画書チェック② 8. 画コンテ作成 9. ロケハン、資料等作成 10. 制作スケジュール作成 11. 撮影期間 12. 撮影期間 13. 撮影・編集期間 14. 編集期間 15. 作品講評会 16. 夏季合宿（9月中旬） 17. 〃 18. 〃 19. 後期テーマ打合せ（web配信・番組制作） 20. 特別講義①（webテスト配信実施） 21. 番組企画打合せ 22. 番組企画打合せ 23. 企画書チェック 24. 撮影期間 25. 撮影期間 26. 編集期間（CG合成等） 27. 編集チェック・台本作成 28. 特別講義②（web配信・番組制作） 29. 技術打合せ 30. Web配信本番								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	スタッフゼミⅠ・Ⅱ								
担当者	伊藤　亜季	講師紹介							
開講年次	1年次／2年次	必／選	選択	授業形態	実習	時間数	30時間	時期	短
到達目標	★セミナーやイベントにスタッフとして参加 ★「スタッフ」の意識を学ぶ								
授業概要	授業外での撮影やイベント等、スタッフとしての活動を時間数として認定します。制作にも役立つ基礎的な経験値を積み、技術的な場面では自分の力量を試すことができるでしょう。参加する中で自分を客観的に見て次へ繋がるステップにしましょう。								
授業計画									
評価方法	その他（取り組む姿勢、技術理解度）								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	映像表現								
担当者	金　大偉	講師紹介	音楽家、映像作家、演出家、画家として多方面に活動。音楽CD「TOMPA」、映画「ロスト　マンチェリア　サマン」など						
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	座学	時間数	30時間	時期	前
到達目標	★映像と社会との関係をもう一歩深く理解できます ★アート界の特別ゲストの話も聞けます ★音楽と映像との関係の深さがわかります ★映像表現の全体性及び美学を理解できます								
授業概要	映像表現とは、単一的なものではなく、音響的、色彩的、心理的、あるいは物語性や技術性などあらゆる要素を総合的に表現することが大切である。この授業では、独創性の高い作品を観ながら、その表現力と想像力の構成を考察する。また、時にアート界における特別ゲストを招き、その表現スタイルを一歩深く探り、体験してゆく。良い作品を作るために、自分たちが本来持つ個性がとても重要である一方、自分たち以外にある無限な表現世界をも認識する必要はある。斬新な映像表現をするために、様々な知識を考えてゆきましょう。								
授業計画	1. 映像表現の基本について 2. 欧米映画とアジア映画の表現方向 3. 色彩心理と様々なイメージ 4. 特別ゲストと共に（A） 5. 音楽クリップの構成と表現 6. 映像美学について 7. スペシャル映像観賞 8. 特別ゲストと共に（B） 9. 映像表現の特殊形態 10. 映像に存在する様々な音楽形式 11. 映像表現に関する時代の動向 12. 特別ゲストと共に（C） 13. 色彩心理と現代社会との関係 14. 映像の記号と独自性 15. 映像表現の総まとめ								
評価方法	レポート								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	アートディレクション								
担当者	小室　泰樹	講師紹介	テレビ番組・イベント映像　CGデザイナー						
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	座学	時間数	30時間	時期	後
到達目標	★デザイン面から映像制作に必要な知識と技術を理解する								
授業概要	様々な作例をベースにより深く学びます。 “作り始める前に、よく考える” “作りたいビジュアルを、はっきり頭に描く” “めざしたものに対して、妥協しない” 実作業以上に「考えるコト」にたっぷり時間をさいて密な対話を通して「伝えたいコトが伝わる」映像作りを身につけてほしいと思います。								
授業計画	1. オリエンテーション・制作チーム編成 2. 作品研究１ 3. 作品研究２ 4. 作品研究３ 5. 作品研究４ 6. 作品研究５ 7. 作品研究６ 8. 企画の伝え方 9. アイデアのビジュアル化 10. 制作①　進行チェック・アドバイス 11. 制作② 12. 制作③ 13. 制作④ 14. 完成版プレビュー／プレゼン 15. 作品発表								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	就職講座Ⅱ								
担当者	学務管理部	講師紹介							
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	座学	時間数	30時間	時期	前
到達目標	★就職活動における各種準備 ★ビジネスマナー、社会人としての知識を得る ★進路決定								
授業概要	この授業は、皆さんが希望する企業や職業に就職するためのものですが、更に社会を知り、社会人としてのマナーを身につけるという目的もあります。授業の進め方は、実習形式と座学形式で展開していきます。例えば、筆記試験対策として模擬試験を実施する座学があったり、面接対策としてプレゼンテーションの練習等をする実践的な授業もあります。また随時、求人情報の紹介をしますので、この授業を受講していると就職やアルバイトに関しても情報が素早くキャッチでき、自らの進路決定に役立ちます。								
授業計画	1. 就職活動のルール（ガイダンス） 2. 履歴書・エントリーシートの書き方① 3. 〃 ② 4. 面接対策① 5. 〃 ② 6. 筆記試験対策（一般常識、SPI） 7. ポートフォリオ講座 8. 個人面談① 9. 〃 ② 10. 求人票の読み方 11. 企業･業界研究 12. 学内企業説明会① ※実施時期は変動します 13. 〃 ② 〃 14. 未内定者のフォローアップ 15. 夏季エントリーについて								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	就職講座Ⅲ								
担当者	学務管理部	講師紹介							
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	座学	時間数	15時間	時期	後
到達目標	★就職活動における各種準備 ★ビジネスマナー、社会人としての知識を得る ★進路決定								
授業概要	卒業後の進路決定に向けて、授業内で業界関連企業の説明会と個人面談をベースとして進めます。みなさんとコミュニケーションを取りながら、それぞれの志望にあった進路を一緒に考え、進路に関する質問や相談も気兼ねなくできる時間にしたいと思っています。								
授業計画	1. 授業ガイダンス 2. 個人面談（求人案内） 3. 企業説明会 4. 租税教室（税金講座） 5. 企業説明会 6. 個人面談（求人案内） 7. 企業説明会 8. 個人面談（求人案内） ※個人面談と企業説明会の回数や予定は変更になる可能性があります。								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	卒業制作　MV								
担当者	大和・伊藤　他	講師紹介							
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	120時間	時期	通
到達目標	★MV制作を更に本格的に実践できる ★4Kでの撮影が行える ★合成等の技術を活かせる ★特機等を扱って作品撮影ができる								
授業概要	プロモーション映像科2年間の集大成として作品制作を行う学生最後の実習です。MVは歳年により作品制作のスタイルが変化し、LIVE撮影となることもあります。CMは企業と行うこともあります。 この「卒業制作（MV/CM)」では撮影・照明・音声等の技術として「MV」「CM」の両撮影へ準備段階から参加・完パケまで参加します。 ※企画制作演出担当者は「卒業制作　MV/CM（企画・制作・演出)」を選択の上、時間数をさらに取得することになります。								
授業計画	1. ガイダンス 2. クライアント・アーティストに関するオリエン 3. 企画立案 4. 企画書・イメージコンテ作成 5. 企画書・イメージコンテ等チェック 6. クライアントへプレゼン 7. 企画決定／ロケハン・撮影スケジュール等作成 8. 撮影準備期間 9. 撮影準備期間				10. 編集（メイキングも含む） 11. 編集（メイキングも含む） 12. 編集（メイキングも含む） 13. 編集（メイキングも含む） 14. 編集（メイキングも含む） 15. 完パケ・納品・講評会				
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	卒業制作　MV（企画・制作・演出）								
担当者	大和・伊藤　他	講師紹介							
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	60時間	時期	通
到達目標	★MVを更に本格的に制作できる ★制作・演出能力をスキルアップできる ★より実践的なプレゼン・演出が行える ★リーダーシップが身に付く								
授業概要	この卒業制作MVでは、作品制作の要となる企画立案・企画書作成、プレゼンテーション、画コンテ・香盤表等書類作成、その他制作全般を実行し、チーム全体を牽引して行く役割を果たす者のみ履修し、時間数を付与するものである。 2年間の集大成ということもあり、難易度が高くなりますが、学んできた経験・知識を活かし更なるスキルアップをして行きましょう。								
授業計画	1. ガイダンス 2. クライアント・アーティストに関するオリエン 3. 企画立案 4. 企画書・イメージコンテ作成 5. 企画書・イメージコンテ等チェック 6. クライアントへプレゼン 7. 企画決定／ロケハン・撮影スケジュール等作成 8. 撮影準備期間 9. 撮影準備期間				10. 編集（メイキングも含む） 11. 編集（メイキングも含む） 12. 編集（メイキングも含む） 13. 編集（メイキングも含む） 14. 編集（メイキングも含む） 15. 完パケ・納品・講評会				
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	卒業制作　個人映像（企画演出）								
担当者	金・大和	講師紹介							
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	45時間	時期	前
到達目標	★自分だけのオリジナル映像作品を制作できる ★作家性を伸ばせる ★撮影編集合成技術を試しスキルアップする ★制作期間のペース配分を自分で出来る（自己管理能力が必要）								
授業概要	2年間の集大成として個人で映像を制作して行く。企画立案～画コンテ作成～制作期間スケジュール作成までを前期に行い、後期前半までに作品を仕上げる。 撮影～編集・完パケまでを個人で行う為、カメラを自分で扱える事、編集も出来ることが履修の絶対条件である。また、企画内容も自分で決めて行く為、創造性が要求される。大人数での撮影とは違い、数多くの機材等の使用は不可能だ。個人で全てをこなす厳しさもあるが、幅の広い作品を創造できる喜びもあるだろう。								
授業計画	1. ガイダンス 2. サムネイルを元にディスカッション 3. 企画立案 4. 企画書作成① 5. 企画書チェック① 6. 企画書作成② 7. 企画書チェック② 8. テスト撮影・試作品制作① 9. 試作品講評会① 10. 企画書作成③ 11. 企画書チェック③ 12. テスト撮影・試作品制作② 13. 試作品講評会② 14. 企画書作成④ 15. 企画書・画コンテ・香盤表・スケジュール提出								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	卒業制作　個人映像（撮影編集）								
担当者	金・大和	講師紹介							
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	135時間	時期	後
到達目標	★自分だけのオリジナル映像作品を制作できる ★作家性を伸ばせる ★撮影編集合成技術を試しスキルアップする ★制作期間のペース配分を自分で出来る（自己管理能力が必要）								
授業概要	2年間の集大成として個人で映像を制作して行く。企画立案～画コンテ作成～制作期間スケジュール作成までを前期に行い、後期前半までに作品を仕上げる。 撮影～編集・完パケまでを個人で行う為、カメラを自分で扱える事、編集も出来ることが履修の絶対条件である。また、企画内容も自分で決めて行く為、創造性が要求される。大人数での撮影とは違い、数多くの機材等の使用は不可能だ。個人で全てをこなす厳しさもあるが、幅の広い作品を創造できる喜びもあるだろう。								
授業計画	16. 制作期間（撮影・編集・合成等） 17. 〃 18. 〃 19. 〃 20. 〃 21. 〃 22. 〃 23. 〃 24. 〃 25. 〃 26. 〃 27. 編集チェック 28. 再編集 29. 編集チェック 30. 講評会（完パケ）								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	ミュージックビデオ制作								
担当者	大和・伊藤　他	講師紹介							
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	実習	時間数	120時間	時期	前
到達目標	★撮影、照明等機材への理解が深まる ★4Kでの撮影を行える ★特機等を扱って作品撮影ができる								
授業概要	プロモーション映像科2年生前期の作品制作を行う実習です。 この「ミュージックビデオ制作/CM制作」では撮影・照明・音声等の技術として「MV」「CM」の両撮影へ準備段階から参加・完パケまで参加します。 ※企画制作演出担当者は「ミュージックビデオ制作/CM制作（企画・制作・演出）」を選択の上、時間数をさらに取得することになります。								
授業計画	1. ガイダンス 2. アーティストとの交渉／アーティストに関してのプレゼン 3. アーティスト決定／班分け 4. 企画書・イメージコンテ等作成 5. ロケハン／撮影スケジュール等作成 6. クライアントへのプレゼン 7. 企画決定 8. 撮影準備期間（ロケ地決定・衣裳合わせ等） 9. 撮影準備期間（撮影許可等申請・美術制作・車両等発注） 10. 撮影 11. 撮影 12. 編集（撮影予備日） 13. 編集 14. 編集 15. 講評会								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	ミュージックビデオ制作（企画・制作・演出）								
担当者	大和・伊藤　他	講師紹介							
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	実習	時間数	60時間	時期	前
到達目標	★ミュージックビデオの制作が実践できる ★対外的な交渉やプレゼンテーションに自信がつく ★実践的な企画書等の書類を正しく作成できる								
授業概要	2年次のこの実習から、「MV」と「CM」とに二分され、この授業では「ミュージックビデオ」のみを制作することとなる。1年次よりも実習として、更にハイクオリティーな作品を要求される重要な授業であると言えよう。 制作過程は、1年次に学んだことをベースにして行くが、講師や教職員の手を借りることなく、自分達の力だけで制作してみよう。応用力をつけることで、卒業制作そして就職後の仕事へと繋がることを期待する。								
授業計画	1. ガイダンス 2. アーティストとの交渉／アーティストに関してのプレゼン 3. アーティスト決定／班分け 4. 企画書・イメージコンテ等作成 5. ロケハン／撮影スケジュール等作成 6. クライアントへのプレゼン 7. 企画決定 8. 撮影準備期間（ロケ地決定・衣裳合わせ等） 9. 撮影準備期間（撮影許可等申請・美術制作・車両等発注） 10. 撮影 11. 撮影 12. 編集（撮影予備日） 13. 編集 14. 編集 15. 講評会								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	デジタルエフェクト								
担当者	田澤　友和	講師紹介	vanishock Ink, 代表 ― アリアナ・グランデ、テイラー・スウィフトなど多くのビッグネームのオフィシャル映像の制作を手がける						
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	実習	時間数	60時間	時期	前
到達目標	★ After Effectsの基本を習得します ★ モーショングラフィックスの基礎を学びます ★ 多彩なビジュアルエフェクトが理解できます ★ タイトル映像を実践的に制作します								
授業概要	この授業ではアドビ社のAfter Effectsを使用し、モーショングラフィックスとビジュアルエフェクトの基礎を学びます。様々な形式の静止画・動画の素材をレイヤー上で重ね合わせエフェクトをかけ、映像を作り出していくことのできるAfter Effectsは、さながら「動くフォトショップ」とでもいうべきものです。フォトショップによる静止画での画像合成から発展し、よりダイナミックな動画の合成・加工の知識を養っていきましょう。 授業は、タイトル映像を制作するなど即戦力となるような実習形式で進めます。								
授業計画	1. ガイダンスと受講者優秀作品紹介 2. After Effects基本マスター① 3. After Effects基本マスター② 4. ロゴタイプモーショングラフィックス① 5. ロゴタイプモーショングラフィックス② 6. ビジュアルエフェクトテクニック① 7. 15秒のCM制作① 8. 15秒のCM制作② 9. 15秒のCM制作③ 10. ビジュアルエフェクトテクニック② 11. タイトル映像プランニング 12. タイトル映像制作① 13. タイトル映像制作② 14. タイトル映像制作③ 15. タイトル映像講評会								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	デジタル撮影システムⅡ								
担当者	工藤　久哉	講師紹介	ビデオエンジニア・DIT・カメラマン・ライブ中継・スポーツ中継・ライブ配信エンコード						
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	実習	時間数	80時間	時期	前
到達目標	★ 4K撮影システムを使いこなす ★ ブルーバック合成の撮影をマスターする ★ 特機や最先端の専門知識を理解する								
授業概要	映画、CM、ミュージックビデオなど映像はフルデジタルで製作されます。この授業では、4KCamera「RED Digital Cinema」及びSONY「PXWFX9」を使って撮影技術を実践で学習していきます。実際にプロの現場で使用されている最高水準の機材を使い、デジタル撮影技術を理解し、習得してください。 技術者養成とともに、企画演出にとっても重要な撮影のノウハウを学ぶ実践中心のカリキュラムです。厳しい中にも楽しい本物の撮影現場を実際に体験して学び取ってください。								
授業計画	1. ガイダンス　授業概要の説明 アンケートで学生の興味調査 機材の特徴とシステム構成プレゼンテーション、撮影、編集 2. デジタル撮影の最近の傾向と特徴 機材の取り扱い　機材準備　組み立て～撤収 3. 作品研究　撮影実習① 基本撮影　カメラワーク 4. 技術解説　撮影実習② 基本撮影　照明とフィルターワーク 5. 撮影実習③　応用撮影 カラーライティングとカラーコレクション 6. 屋外撮影実習①　基本撮影　・DSLR 7. 撮影実習④　応用撮影　・スティディカム 8. 撮影実習⑤　特殊撮影　・ミニジブ 9. 特別講師授業　・クレーン撮影 10. 屋外撮影実習②　特殊撮影 11. 合成撮影技術実習 12. 作品制作①　撮影 13. 作品制作②　屋外／教室　撮影 14. 作品制作③　撮影　仕上げ 15. 学内資格試験 班分けして少人数のグループで実習を行う 作品研究や技術解説は全体またはクラス単位で行う								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／試験／レポート／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	イメージディレクション								
担当者	イタバシ　ヒロノリ	講師紹介	ファッション映像ディレクター						
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	60時間	時期	通
到達目標	★自分が何を考えているかを自覚しよう２ ★他人が何を考えているかを想像しよう２ ★大きな声で叫ぼう２								
授業概要	この授業は、現場に出てすぐに役立つスキルを学ぶモノではありません。 みなさんがディレクターや演出家として一本立ちした時に「もしかしたら」「たぶん」役に立つ「かもしれない」…モノを作る人間として問われる（そんなモノが存在するのか判りませんが…）「オリジナリティー」や「作家性」を「自分自身」の「経験」を通してカタチにしていくプロセスを学ぶ授業です。 自分ではイケてると思うのに、他人には全否定され…それでも作りたいと思う気持ちを持てるかどうか…この授業は、みなさんの「十年後」のための授業です。								
授業計画	1. ガイダンス 2. case① 3. case② 4. こんな課題が出たみたい 5. case③ 6. 自由に								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／レポート／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	映像創作								
担当者	廣原　暁	講師紹介	映画監督						
開講年次	2年次	必／選	選択	授業形態	演習	時間数	60時間	時期	通
到達目標	★自分の無意識と向き合う ★映像の面白さを発見する ★現実の世界を見て、聴く力を身につける								
授業概要	この授業では各自で映像を制作してもらいます。現実にカメラを向けると何かが映ります。何が写っているかその都度検証し、最終的に作品にしてもらいます。それはドキュメンタリーでもないですし、フィクションでもありません。本来カメラを向けるといった行為にそういったジャンルはありません。映像の持つ面白さについて考えましょう。								
授業計画	1. ガイダンス 2. 制作 3. 経過報告 4. 制作 5. 経過報告 6. 制作 7. ディスカッション 8. 制作 9. 経過報告 10. 制作 11. 経過報告 12. 制作 13. 経過報告 14. 制作 15. 中間講評 16. 制作 17. 経過報告 18. 制作 19. 経過報告 20. 制作 21. 経過報告 22. 制作 23. ディスカッション 24. 制作 25. 経過報告 26. 制作 27. 経過報告 28. 制作 29. 制作 30. 講評								
評価方法	内容の理解度・習得意欲などの平常点／課題提出								
テキスト・参考書等									
備考									

プロモーション映像科　実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

年次	授業科目名	担当教員名	実務経験
1年次	映像デザイン	金　大偉	音楽家、映像作家、演出家、画家として多方面に活動。音楽CD「TOMPA」、映画「ロストマンチュリア　サマン」など。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	空間インスタレーションⅠ		
	映像創作基礎	五十嵐　耕平	映画・MVなどの映像ディレクター。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	映像創作分析		
	プロモーション映像制作	今井 俊彦	MVディレクター、フォトグラファー。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	イメージプランニング	イタバシ　ヒロノリ	ファッション映像ディレクター。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	ノンリニア編集 (Premiere Pro)		
	グラフィックソフト トレーニング	日笠　かな	ポストプロダクションを経て現在はフリーランス。 CMを中心とした映像編集を扱っています。 これまでの実務経験に基づいて授業を実施します。
	DaVinci Resolve	田澤　友和	vanishock Ink, 代表 ー アリアナ・グランデ、テイラー・スウィフトなど多くのビッグネームのオフィシャル映像の制作を手がける。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	デジタル撮影基礎	折井　康弘	同プロモーション映像科第3期生。卒業後有名写真家のアシスタントを経てフォトグラファーとして活動中。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	デジタル撮影システムⅠ	工藤　久哉	ビデオエンジニア・DIT・カメラマン。MXTV「5時に夢中」ライブ中継・スポーツ中継など。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
2年次	映像表現	金　大偉	音楽家、映像作家、演出家、画家として多方面に活動。音楽CD「TOMPA」、映画「ロストマンチュリア　サマン」など。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	空間インスタレーションⅡ		
	卒業制作　個人映像 （企画演出）		
	卒業制作　個人映像 （撮影編集）		
	アートディレクション	小室　泰樹	テレビ番組・イベント映像　CGデザイナー。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	卒業制作　MV	今井 俊彦	MVディレクター、フォトグラファー。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	卒業制作　MV （企画・制作・演出）		

2年次	ミュージックビデオ制作	今井 俊彦	MVディレクター、フォトグラファー。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	ミュージックビデオ制作 （企画・制作・演出）		
	イメージディレクション	イタバシ　ヒロノリ	ファッション映像ディレクター。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	映像創作	廣原　暁	東京藝術大学大学院にて映画専攻。 修士課程修了後、フリーの映画監督、作家として活動。学生時代から各種映画祭にて受賞歴有り。自身の監督作品は海外映画祭にも出展。これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	デジタルエフェクト	田澤　友和	vanishock Ink, 代表 ー アリアナ・グランデ、テイラー・スウィフトなど多くのビッグネームのオフィシャル映像の制作を手がける。 これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。
	デジタル撮影システムⅡ	工藤　久哉	ビデオエンジニア・DIT・カメラマン。MXTV「5時に夢中」ライブ中継・スポーツ中継など。これまでの実務経験を活かして本講座の指導にあたる。